

連 載：群馬パース大学のあゆみ [第2回]

## 理学療法学科の過去・現在・未来

松 澤 正<sup>1)</sup>

### School of Physical Therapy of Paz : Past, Present and Future

Tadashi MATSUZAWA<sup>1)</sup>

キーワード：教員、入学、卒業、国試、カリキュラム

#### 1. 準備期（平成13年4月～平成14年3月）

理学療法学科の学科新設の準備が始まったのは、平成13年であるが、その準備以前に私のところに学科新設をしたいので、協力して欲しいとお話があったのは、平成12年の秋のことと思う。私が勤めていた筑波技術短期大学に樋口理事長と金谷さんが来学して、東京都立保健科学大学の柳澤健先生の紹介で、群馬パース看護短期大学に看護学科があるが、理学療法学科を作りたいので協力して欲しいと依頼があった。私も是非協力したいと返事して、群馬パース看護短期大学の理学療法学科の新設の準備が始まった。

その後、一旦学科の新設を延期するお話がありましたが、平成13年1月になり、柳澤健先生から学科新設をしなければいけないと勧めがあり、平成13年度には準備室を立ち上げることになった。そして、3月には看護学科の学科長さんが急遽退職され、学科長不在となり、私が学科長を兼ねて、理学療法学科の準備に取り組んだ。

学科新設に向けて準備をするには、①カリキュラムの作成、②臨床実習施設の確保、③担当教員の確保、④理学療法学科棟の建設である。

カリキュラムの作成は、私の前短期大学の理学療法学科のカリキュラムが短期大学であったので、それを参考に、開設時に着任される予定の石川春律先生と作成した。

次に、臨床実習施設については、群馬県内の病院や

埼玉、長野、新潟の病院を訪ねて、臨床実習施設の許可のお願いに回った。取りあえず許可は出すが、実際の臨床実習を受けるかは、その時になってみないと分からないとの施設が大部分であったが、26施設の承諾がとれ、認可に必要な数の確保ができた。

理学療法の専門科目担当教員については、知り合いの手づるを使って教員の確保をした。

国際医療福祉大学の丸山仁司先生にお会いして、江口勝彦先生を紹介していただいた。また、昭和大学では、高橋正明先生から目黒力先生の紹介を得た。さらに、東京都立保健科学大学の柳澤健先生からは、富田浩先生と柴田雅祥先生の紹介を得て、理学療法専門科目の担当者が決まった。

学科棟の建設は指定規則で決められている教室、実習室を確保し、演習室、研究室を含めて床面積1324m<sup>2</sup>の理学療法学科部分と保健師課程の専攻科の教室、実習室、演習室、研究室を含めた理学療法学科棟の建物が看護棟裏側に建設された。9月から建築が始まり平成14年2月に完成した。

このように、カリキュラム、臨床実習施設、教員の配置が整い、学科新設に伴う教育上の準備ができ、平成13年6月には文部科学省に学科新設の手続きをした。そして、9月には面接審査が文部科学省で行われ、樋口理事長をはじめ、6名が審査をうけた。一部科目担当者の修正の指示があったが、その訂正をして、11月には認可が下りた。

1) 群馬パース大学保健科学部、理学療法学科

## 2. 短期大学期（平成14年4月～平成17年3月）

第1期生の入学試験は12月から学校長推薦、社会人特別選抜、一般入試前期、後期の4回が行われて、入試出願者139名で、入学者は44名であった。

入学定員は40名で1割増の入学者であった。入学者は全国的で西は広島県、大阪府、京都府から北は宮城県、福島県、新潟県からと群馬県と近県であった。その入学者の特徴は、社会人入学者が6人いて、その中に大卒者が5人いた。また、現職の医師の入学者がいた。病院を持っていて、そのリハビリテーションを行うということで、理学療法を学ぶ為に入学した。資格を取ってからはリハビリテーション医として活躍している。

短期大学期で、最も苦勞したのは臨床実習施設の確保であった。当初の計画ではインターン実習は1期、2期で終了することにしていたが、実習施設の確保ができず4期まで設定し、4月から12月までの臨床実習を行わなければならなかった。しかし、2期生は3期まで行い、3期生でようやく本来の2期までの4月から7月までの臨床実習となった。

1期生の理学療法士国家試験の合格者は受験者38名中、33名の合格者であり、合格率86.8%であった。それは国家試験対策が不十分であったことを示すもので、2期生からは、目黒先生を中心にグループ学習を徹底するようにした。その結果2期生は、受験者43名中42名の合格で合格率97.7%となった。

学生生活は、大部分の学生が寮生活をしていたので、学生ラウンジで勉強したり、夜遅くまで各先生方の研究室に入室して学習していた。また、体育館で放課後フットサルやバレーボールなどの練習をして体力作りをすると共に仲間づくりをした。

## 3. 四年制大学期（平成17年4月～平成26年7月）

四年制大学の準備は、平成15年に岩押の校舎の取得から始まった。

理学療法士教育の流れも専門学校や短期大学での教育から四年制大学の時代になっているので、本学においても四年制大学を思考する時となっていた。

短期大学の理学療法学科の1期生が卒業するのに合わせて、四年制にするとのことで、平成15年秋からカリキュラムの作成が始まった。平成16年4月に設置申請を行い、6月には、実地・面接調査が行われて、11

月には四年制大学の設置が認可された。

そして12月から学校長推薦、社会人特別選抜、一般入試が始まった。入学出願者は405名で、入学者は入学定員50名に対して53名で、受験倍率7.6倍であった。入学者の特徴はほとんどが現役の高校生であった。

四年制の1期生は1年次が岩押の高崎校舎で授業が行われた。2年次、3年次、4年次が高山校舎で授業が行われた。そして、年々受験希望者の減少傾向になってきたので、その解決策として、交通のアクセスのよい所に進出することが決まり、平成21年に高崎市問屋町に新校舎の建設が決まり、7月から建設が始まった。平成22年2月に完成し、3月には高山校舎から引越して、4月からは、看護学科と理学療法学科の全学年で新校舎での授業が始まった。そして、平成25年度からは理学療法学科の1学年定員が60名となった。

## 4. カリキュラムについて

短期大学の理学療法学科申請時のカリキュラムは表1である。

基礎分野は、15科目(25単位)で、必修が4科目(4単位)で英語と体育であり、その他は選択で11科目(21単位)である。その内14単位をとる。専門基礎分野は、23科目(31単位)で、必修が18科目(21単位)で解剖学や生理学、運動学で、それに臨床系科目である。選択は5科目(10単位)である。その内28単位をとる。専門分野は、24科目(54単位)で全て必修である。その他、専門分野と関連の選択科目として6科目(12単位)がある。そして卒業に必要な単位は98単位となっている。

短大時のカリキュラムとしては、情報処理や地域リハビリテーションとの関連科目である地域理学療法学や在宅ケア理学療法の科目を入れた。

表1 短期大学理学療法学科カリキュラム

	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			取得単位数
			必修	選択	自由	
授業科目の概要	情報処理基礎	1		2		14 単 位
	情報処理基礎演習	1		1		
	生物科学	1		2		
	生化学	1		2		
	医用物理学	1		2		
	心理学	1		2		
	法学	1		2		
	社会学	1		2		
	教育学	1		2		
	健康科学	1		2		
	栄養学	1		2		
	英語Ⅰ	1	1			
	英語Ⅱ	2	1			
	体育Ⅰ	1	1			
体育Ⅱ	2	1				

授 業 科 目 の 概 要	専 門 基 礎 分 野	解剖学	1	2			12 単 位						
		解剖学実習	1	2									
		生理学	1	2									
		生理学実習	1	1									
		運動学	1	2									
		運動学実習	1	1									
		人間発達学	1	2									
		機能解剖学	1		2								
		発達心理学	1		2								
	目	基 礎 分 野	病理学	2	1			12 単 位					
			臨床心理学	2	2								
			内科学	2	1								
			神経内科学	2	1								
			整形外科	2	1								
			小児科学	2	1								
			精神医学	2	1								
			リハビリテーション医学	2	1								
			臨床検査学	2	1								
			医学概論	2		2							
	老年医学	2		2									
	目	専 門 分 野	公衆衛生学	2	2			4 単 位					
			リハビリテーション概論	1	2								
			社会福祉学	2		2							
目			専 門 分 野	理学療法概論	1	2			6 単 位				
				臨床運動学	2	2							
				理学療法研究法	3	2							
				目	専 門 分 野	理学療法評価学	1	2			5 単 位		
						理学療法評価学実習	2	3					
						目	専 門 分 野	基礎運動療法学	1	2			23 単 位
								基礎運動療法学実習	1	2			
	物理療法学	1						2					
	物理療法学実習	2						1					
	神経系疾患理学療法	2						2					
神経系疾患理学療法実習	2	2											
運動系疾患理学療法	2	2											
運動系疾患理学療法実習	2	1											
呼吸循環系疾患理学療法	2	2											
呼吸循環系疾患理学療法実習	2	1											
目	専 門 分 野	義肢装具学	2	2			4 単 位						
		義肢装具学実習	2	1									
		日常生活活動学	2	2									
		日常生活活動学実習	2	1									
		地域理学療法学	3	2				4 単 位					
		生活環境論	3	2									
		目	専 門 分 野	臨床実習Ⅰ	2	2				18 単 位			
				臨床実習Ⅱ	3	8							
				臨床実習Ⅲ	3	8							
		目	選 択 科 目	スポーツ障害理学療法学	3			2		98 単 位 以 上			
在宅ケア理学療法学	3				2								
言語治療学	3				2								
看護学	3				2								
福祉機器概論	3				2								
運動療法特論	3				2								

平成17年には四年制大学になったが、その申請時の理学療法学科のカリキュラムは表2である。

一般科目は34科目（56単位）で、必修が7科目（11単位）であり、選択が27科目（45単位）である。その内28単位をとる。専門基礎科目では、50科目（53単位）で、必修が27科目（30単位）、選択が23科目（23単位）であり、その内38単位をとる。専門科目は、38科目（64単位）で、必修が37科目（62単位）、選択が1科目（2単位）であり、その内62単位をとる。そして卒業に必要な単位は128単位となっている。

四年制大学のカリキュラムは、短大の基礎分野が一般科目となり、15科目（25単位）から34科目（56単位）となり、大学としての教養を充実させた。特に、語学

の選択が広がった。また、生活関連や成熟社会関連の科目が設けられた。さらに、高校での履修していない科目を学べるように基礎教育科目を設けた。専門基礎科目では、23科目（31単位）から50科目（53単位）となり、身体構造や心身機能の充実、疾病や障害の臨床系の充実、保健医療福祉関連科目の充実がなされた。専門科目は、24科目（54単位）から38科目（64単位）となった。基礎理学療法学では選択ではあるが卒業研究が設けられ、理学療法評価学では疾患別の評価学や臨床運動学が設けられ、理学療法治療学では、徒手療法やスポーツ傷害や高齢者理学療法学が設けられた。さらに、地域理学療法学の充実と臨床実習に見学実習が設定され、臨床実習は、見学実習、評価学実習、総合実習と順序を追って学習するようになった。

表2 保健科学部 理学療法学科カリキュラム

目 群	科 目	授 業 科 目 の 名 称	配 当 年 次	単位数又は時間数			取 得 単 位 数		
				必 修	選 択	自 由			
一 般 科 目	人 間	心理学	1	2			28 単 位		
		老年心理学	2		2				
		教育学	1		2				
		生命科学	1		1				
		生命倫理	1	1					
		スポーツ科学	1	1					
		スポーツ科学実習	2		1				
		言 語 と 文 化	総合英語	1	2				28 単 位
			英語表現	1		2			
			医療英語・外書講読	2		1			
	国際医療協力英語		2		1				
	中国語		2		2				
	ハンブル		2		2				
	スペイン語		2		2				
	生 活	音楽学	1		2		28 単 位		
		日本の近代文学	1		2				
		生活学	1		2				
	成 熟 社 会	家族学	1		2		28 単 位		
		地域社会学	1	2					
		ボランティア活動論	1		2				
		医療民俗学	1		2				
		法学	1		2				
		経済学	1		2				
国際関係論		1		2					
性別の社会科学		1		2					
環境論		1		2					
情報処理		1	1						
情報学	1		2						
基 礎 教 育	総合講座	総合講座	1		1		28 単 位		
	保健統計基礎	1	2			15 単 位			
	生物学基礎	1		1					
	化学基礎	1		1					
	物理学基礎	1		1					
英語基礎	1		1						
人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 心 身 の 発 達	解剖学Ⅰ	1	2			15 単 位			
	解剖学Ⅱ	1	1						
	表面解剖学と触診法	1	1						
	解剖学実習	2	1						
	生理学	1	2						
	運動生理学	1	1						
	生理学実習	2	1						
	生化学	1	1						
	運動学	1	2						
	運動学実習	2	1						
	人間発達学	2	1						
	発達心理学	2		1					
	歯科保健	2		1					
	栄養学（含食品学）	1		1					
	医 療 概 論	医療概論	1	1				15 単 位	
病理学		1	1						
薬理学		1		1					
公衆衛生学		1		1					

専 門 基 礎 科 目 群	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	画像診断学	2		1	16単位						
		内科学	2	1								
		外科学	2		1							
		整形外科学Ⅰ	2	1								
		整形外科学Ⅱ	2	1								
		神経内科学Ⅰ	2	1								
		神経内科学Ⅱ	2	1								
		脳神経外科学	2	1								
		精神医学	3	1								
		小児科学Ⅰ	2	1								
		小児科学Ⅱ	3	1								
		老年医学	2	1								
		救急法	3		1							
		免疫・感染症学	2		1							
		緩和医療学	3		1							
		スポーツ医学	3		1							
臨床検査学	2		1									
カウンセリング	2		1									
専 門 科 目 群	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	1	1		7単位						
		リハビリテーション医学	2	1								
		臨床心理学	1	1								
		安全管理	4	1								
		看護学入門	1		1							
		作業療法概論	3		1							
		言語聴覚治療概論	3		1							
		社会福祉・地域サービス論	2		1							
		レクリエーション論	1		1							
		リハビリテーション工学基礎	3		1							
		障害者スポーツ	3		1							
		国際医療協力	2		1							
		国際医療協力演習	2		1							
		災害時生活体験	1		1							
		専 門 科 目 群	基礎理学療法学	理学療法概論	1		1		8単位			
				基礎理学療法学	2		2					
理学療法セミナーⅠ	1			1								
理学療法セミナーⅡ	2			1								
理学療法セミナーⅢ	3			1								
理学療法セミナーⅣ	4			1								
理学療法研究論	3			1								
卒業研究	4				2							
専 門 科 目 群	理学療法評価学			理学療法評価学	1	2		7単位				
				理学療法評価学演習	3	1						
				運動器系理学療法評価学	2	1						
				神経系理学療法評価学	2	1						
				呼吸・循環・代謝系理学療法評価学	2	1						
				臨床運動学	3	1						
				専 門 科 目 群	理学療法治療学	運動器系理学療法学	2			2		20単位
						運動器系理学療法学実習	3			1		
		神経系理学療法学	2			2						
		神経系理学療法学実習	3			2						
		呼吸・循環・代謝系理学療法学	3			2						
		呼吸・循環・代謝系理学療法学実習	3			1						
		物理療法学	2			2						
		物理療法学実習	3			1						
		義肢・装具学	3			2						
		義肢・装具学実習	3			1						
徒手系理学療法学	3	1										
高齢者理学療法学	3	1										
スポーツ傷害・障害理学療法学	3	1										
健康増進・スポーツコンディショニング論	3	1										
専 門 科 目 群	地域理学療法学	日常生活活動学	2			2		9単位				
		日常生活活動学実習	3			1						
		地域理学療法学	3	2								
		地域理学療法学実習	3	1								
		生活環境学	3	2								
		生活環境学実習	3	1								
		専 門 科 目 群	臨床実習	見学実習	2	1			18単位			
				評価学実習	3	3						
				総合臨床実習Ⅰ	4	7						
				総合臨床実習Ⅱ	4	7						

四年制大学は平成20年で大学設置審の縛りが開けるのを待って、平成21年度にカリキュラムの改訂を行った。改訂のカリキュラムは表3である。

教養科目群、専門基礎科目群、専門科目群と名称を変えて、各科目群の取得単位は同じである。

教養科目群では、科目数を整理し、学生の受講者数の少ない科目が整理された。その結果、34科目（56単

位）から26科目（37単位）となり、専門基礎科目群では、50科目（53単位）から42科目（43単位）となった。専門科目群は、38科目（64単位）から37科目（63単位）となった。

教養科目群は、老年心理学、生命科学が削除され、医療民族学が入り、スポーツ系は健康スポーツ理論と実習となった。語学関係では、スペイン語が削除され、英語は総合英語となり、国際医療協力英語からステップアップ英語となり、その他の音楽や日本の近代文学は削除された。生活と成熟社会の項目が人と社会・生活の項目になり、生活学や家族学から人と社会・生活となり、情報処理関連は情報処理ⅠとⅡとなった。基礎教育の項目では大学の学び入門が科目として設けられた。

専門基礎科目群は、生理学がⅠとⅡとなり、運動学もⅠとⅡとなった。歯科保健が削除された。臨床医学系の項目では、脳神経外科学が削除され、臨床医学特論が設けられ、神経内科学は、臨床神経学ⅠとⅡとなった。リハビリと保健医療福祉関連項目では、作業療法や言語療法、国際医療協力、災害時生活体験等の関連の科目が削除され、生体計測工学や医療統計学が設けられた。

専門科目群では、基礎理学療法学の項目は、理学療法セミナーがⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳとあったが理学療法セミナーに統一され、理学療法特論、臨床推論演習、理学療法管理学が設けられた。また、理学療法評価学の項目では、神経系や呼吸循環系の疾患別評価学があったが、理学療法評価学と実習に統合された。理学療法治療学の項目は、運動療法総論が設けられ、疾患別では評価・治療学となり、小児理学療法が設けられた。また、健康増進・スポーツコンディショニング論は削除された。

以上、4年間の授業の実績を踏まえて、時代の要求する理学療法士を養成するようなカリキュラムとなっている。

表3 改訂理学療法学科カリキュラム

領域	授業科目	単位数		卒業に必要な単位数
		必修	選択	
教養科目群	心理学	2		
	生命倫理	2		
	教育学		2	
	医療民俗学		2	
	健康スポーツ理論		2	
	健康スポーツ実技	1		
言語と文化	総合英語Ⅰ	1		1
	総合英語Ⅱ	1		
	英語表現		1	
	ステップアップ英語		1	
	中国語		1	
	コリア語		1	

教養科目群	人と社会・生活	個人・家族と生活 個人・家族と社会 地域社会学 ボランティア活動論 法学（日本国憲法含む） 経済学 環境学 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 生活の中の数学	2 2 2 1 2 2 2 1 1 1	28単位以上
	基礎教育	大学の学び入門 生物学 化学 物理学	1 1 1 1	
専門基礎科目群	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習 表面解剖学と触診法 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習 運動生理学 生化学 運動学Ⅰ 運動学Ⅱ 運動学実習 人間発達学 栄養学（含食品学）	2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1	15単位以上
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	医療概論 病理学 薬理学 公衆衛生学 臨床検査・画像診断学 臨床医学特殊講義 内科学 整形外科Ⅰ 整形外科Ⅱ 臨床神経学Ⅰ（神経内科学） 臨床神経学Ⅱ（小児神経学・脳神経外科学） 精神医学 小児科学 リハビリテーション医学 老年医学 救急・免疫・感染症学 スポーツ医学 緩和医療学 カウンセリング	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	17単位以上
専門科目群	リハビリテーションの理念	リハビリテーション概論 リハビリテーション関連領域論 臨床心理学 安全管理 生体計測工学 医療統計学 社会福祉・地域サービス論 障害者スポーツ・レクリエーション論 リハビリテーション工学	1 1 1 1 1 1 1 1 1	7単位以上
	基礎理学療法学	理学療法概論 基礎理学療法学 理学療法セミナー 理学療法特論 臨床推論演習 理学療法研究論 理学療法管理学 卒業研究	1 1 1 1 1 1 1 2	7単位以上
専門科目群	理学療法学	理学療法評価学 理学療法評価学演習 臨床動作分析学	2 1 1	4単位
	理学療法学	運動療法総論 運動器系理学療法評価・治療学 運動器系理学療法評価・治療学演習Ⅰ 運動器系理学療法評価・治療学演習Ⅱ 神経系理学療法評価・治療学 神経系理学療法評価・治療学演習Ⅰ 神経系理学療法評価・治療学演習Ⅱ 呼吸・循環・代謝系理学療法評価・治療学 呼吸・循環・代謝系理学療法評価・治療学演習 小児理学療法学 理学療法特殊講義 物理療法学 物理療法学演習 装具学 義肢学 徒手系理学療法学 スポーツ傷害理学療法学 日常生活活動学 日常生活活動学演習	1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1	25単位

療地法域理学	地域理学療法学	2	7単位
	地域理学療法学演習	1	
	生活環境学	2	
	環境理学療法学	2	
臨床実習	見学実習	1	18単位
	評価学実習	3	
	総合臨床実習Ⅰ	7	
	総合臨床実習Ⅱ	7	

### 5. 臨床実習について

短期大学時の臨床実習は、臨床実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの3科目（18単位）であった。Ⅰは評価実習で2単位で2年次に3週間の実習を行った。Ⅱ、Ⅲはインターン実習で8単位ずつ16単位で3年次に8週間ずつの実習を行った。四年制大学の臨床実習は、見学実習、評価学実習、総合実習Ⅰ、Ⅱで18単位である。見学実習は1単位で2年次に1週間の実習を行い、評価学実習は、3単位で3年次に3週間行っている。総合実習はⅠとⅡで、インターン実習であり、7単位ずつ14単位で4年次に8週間を2回行なっている。

臨床実習病院の確保は、短大申請時に確保した病院は26施設であった。しかし、実際に実習が始まった段階では、認可申請時の病院がすべて引き受けてくれた訳でなく、新しく病院の確保に努めなければならなかった。短期大学のインターン実習は当初の計画では4月から7月までの期間で終了する予定であったが、病院確保ができず4期までの12月の実習となった。また、2期生のインターン実習では3期までの4月から10月の実習となり、3期生になって、はじめて当初の計画の2期までの実習で終了することができた。

四年制大学の臨床実習は、総合実習が2期の4月から7月までに終了できるようになった。それは短期大学の卒業生が臨床現場に勤めるようになったことが大きい。四年制大学の評価学実習と総合実習で学生配置した年度ごとの病院数は表4である。

表4 四年制大学臨床実習施設数（評価実習・総合実習）

年度	期 生		施設数
	3年	4年	
2007	I		73
2008	II	I	52
2009	III	II	117
2010	IV	III	94
2011	V	IV	109
2012	VI	V	123
2013	VII	VI	119
2014	VIII	VII	125

## 6. 教員について

平成13年の短期大学申請時の教員数は、学長を除くと、教授3、その内PT1、医師2名であり、助教授は4名で、その内PT3名、教養担当1名であつた。講師は、4名で、その内PT2名、教養科目担当2名であつた。助手は申請対象ではない。

平成14年度の学科発足時の教員は、教授3（PT1、医師2）、助教授3（PT2、教養担当1）、講師3（PT2、教養担当1）、助手1（PT）の10名であつた。そして、完成時の平成16年の教員が揃った段階での教員数は、教授3名（PT1、医師2）、助教授3名（PT2、教養担当1）、講師5名（PT3、医師1、教養担当1）で、助手2名の13名の構成であつた。

平成16年の四年制大学申請時の教員数は、教授6名（PT2、医師4）、准教授5名（PT3、教養基礎担当2）、講師7名（PT4、医師1、教養担当2）であつた。平成17年度の発足時の教員は、教授5名（PT1、医師4）、准教授5名（PT3、教養基礎担当2）、講師7名（PT4、医師1、教養担当2）、助手4名（PT）の21名の構成であつた。実際の完成時の平成20年度の教員数は、教授5名（PT2、医師3）、准教授5名（PT3、教養基礎担当2）、講師4名（PT3、教養担当1）、助教1名（PT）の15名であつた。

なお、平成26年の教員数は、教授6名（PT5、教養担当1）、准教授4名（PT3、医師1）、講師4名（PT3、基礎担当1）、助教1名（PT）、助手1名（PT）の16名の構成で教育を担当している。

## 7. 入学出願者・入学者数について

平成14年度の短期大学1期生から3期生と平成17年度の四年制大学1期生から平成26年度の10期生までの出願者数と入学者数は表5である。

短期大学では、入学定員40名で、四年制大学になって1期生から8期生までが50名の定員であり、9期生と10期生が60名となった。

短期大学の1期生から3期生では、出願者139から137名とほぼ安定し、入学者は44名から49名と受験倍率が3.2倍から2.8倍であつた。それに対して、四年制大学になってからは1期生の出願者が405名と急増し、新規の大学の人気を示した。入学者は53名となり、倍率が7.6倍と高い状態であつたが、2期生以後は出願者が半減し、8期生までは徐々に減少傾向であつたが、9期生から10期生と増加をしている。8期生では出願者156名で入学者68名の2.3倍に下がったが、10期生では出願者301名で入学者70名で4.3倍まで回復した。これは平成22年度から高崎市問屋町の新校舎が出来、さらに、平成25年度から検査技術学科が増設されたことの相乗効果と平成25年度からの受験科目の変更が大きく影響しているものと思われる。さらに、9期生と10期生では、センター入試の出願者がそれぞれ48名、77名と増加しているが、これは一般入試出願者がセンター入試を受ける時の受験料の減額が大きいのと思われる。

地域・社会人特別選抜では、特に社会人の出願者が短期大学では29名から19名と多かつたが、四年制大学では、多い年で5～7名で、ほぼ1～2名と減少し、ほとんどの受験者が現役の高校生となっている。

受験地別の状況は、高崎会場で平成17年度の四年制

表5 短大・四大受験出願者数・入学者数

年 度	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26
入 学 定 員	40	40	40	50	50	50	50	50	50	50	50	60	60
A O 入 試	—	—	—	—	—	—	—	14	26	22	20	10	23
推 薦 入 試 (指 定 ・ 校 長)	22	14	20	77	43	38	29	31	50	39	37	31	38
地 域 ・ 社 会 人 特 別	28	29	19	11	37	19	24	30	20	16	15	8	22
一 般 入 試	89	95	98	317	192	154	134	139	87	88	77	107	141
セ ン タ ー 入 試	—	—	—	—	—	—	—	—	6	14	7	48	77
合 計	139	138	137	405	272	211	187	214	189	179	156	204	301
入 学 者 数	44	45	49	53	64	59	51	60	63	60	68	70	70
受 験 倍 率	3.2	3.1	2.8	7.6	4.3	3.6	3.7	3.6	3.0	3.0	2.3	2.9	4.3

大学の1期生が261名の出願者があり、64%であった。平成18年度からは90名～51名で30～28%ととなっている。2期生の平成18年度からは一般入試前期で大宮会場を設けた。平成20年度までは74～37名の受験者があったが、平成22年度からは8～2名の受験者と減少している。また、平成21年度からは郡山会場、平成23年度からは新潟会場、平成25年度からは長野会場と仙台会場で一般入試前期試験を行っているが、いずれの会場も一桁代の受験者となっている。

## 8. 卒業者、理学療法士国家試験合格者、就職状況について

本学では卒業者すべてが国家試験を受験しているため、国家試験受験者が卒業者数となる。その国家試験受験状況は表6である。

短期大学1期生が平成17年3月に第40回の国家試験を受験し、短大が3期生まで、四大が1期生から平成26年2月までの6期生が受験している。それまでの受験者は423名で、合格者は414名で合格率97.9%である。短期大学1期生は、合格者33名で不合格者5名で86.8%で最も悪い結果となっている。1期生ということで教員側の国試対策が不十分であったことと学生側の国試の難しさが理解できていなかった結果と思われる。教員の指導としてはグループ学習を指導し、過去5年間の過去問1000問題のまとめの作成指導をしたが

十分でなかった。2期生以後はグループ学習の強化として9時から5時までの学内学習を徹底させ、短期大学2期生と3期生では外部講師による国試のテクニックの指導を行った。その結果それぞれ1名と2名の不合格者で97.7%と95.1%となった。四年制大学では、平成21年3月に1期生が国試受験をして、1名の不合格者で97.6%であり、3期生と6期生が4名と5名の不合格者を出したが、合格率は96.2%から90.9%であった。その間グループ学習やナイトセミナーなどで教員による過去問解説などを行い国試対策の充実と国試対策委員による個別指導を行ってきた。また、平成25年度には卒業生の国試に対する取り組み方についての特別指導を行ってきた。

このような国試対策を十分に行ってきたとしても、6期生の不合格者を5名だしてしまっただが、国試対策の方法が悪いと云うことでなく、これからも継続して行くことが大切と考える。

次に、短期大学1期生から四年制大学6期生までの入学者数と同期の卒業者数は表7である。

短期大学1期生から四年制大学6期生までの入学者数は488名で、同期の卒業者数は423名で、卒業率は86.7%である。最もよかったのは短期大学2期生であり、悪かったのは四大5期生の78.3%である。短大2期生は1期生の留年生があったため卒業者が増えた。四大5期生は1年次と2年次の退学者が多かったためである。平均では86.7%の卒業率であり、これを更に

表6 卒業者数と国家試験受験状況

		新 卒				過 年 度				総 数			
		受験者数	合格者数	合格率	不合格者	受験者数	合格者数	合格率	不合格者	受験者数	合格者数	合格率	不合格者
第40回	一期生	38	33	86.8	5	0	0	0.0	0	38	33	86.8	5
第41回	短大 二期生	43	42	97.7	1	4	4	100.0	0	47	46	97.9	1
第42回	三期生	41	39	95.1	2	1	0	0.0	1	42	39	92.9	3
第43回						4	0	0.0	4	4	0	0.0	0
第44回	一期生	42	41	97.6	1	4	1	25.0	3	46	42	91.3	4
第45回	二期生	53	51	96.2	2	3	1	33.3	2	56	52	92.9	4
第46回	三期生	56	52	92.9	4	3	0	0.0	3	59	52	88.1	7
第47回	大学 四期生	48	46	95.8	2	7	3	42.9	4	55	49	89.1	6
第48回	五期生	47	44	93.6	3	5	4	80.0	1	52	48	92.3	4
第49回	六期生	55	50	90.9	5	4	3	75.0	1	59	53	89.8	6
合 計		423	398	94.1	25	35	16	45.7	19	458	414	90.4	44

卒業生数 423人 合格者数414人 合格率 97.9%

表7 入学者数と卒業生数

年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
期 生	短大一期生	短大二期生	短大三期生	四大一期生	四大二期生	四大三期生	四大四期生	四大五期生	四大六期生	四大七期生	四大八期生	四大九期生	四大十期生
入 学 者 数	44	45	49	53	64	59	51	60	63	60	68	70	70
卒 業 年 度	H16	H17	H18	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
卒 業 者 数	38	43	41	42	53	56	48	47	55	—	—	—	—
卒 業 率 (%)	86.4	95.6	83.7	79.2	82.8	94.9	94.1	78.3	87.3	—	—	—	—
短大一期生から四大六期生まで入学者数 計488名													
短大一期生から四大六期生まで卒業生数 計423名 (86.7%)													

高めるための努力が必要と考える。そのためには、入学者の質、すなわち、学力の高い者の入学の方法と卒業までの学生の個別の学力に応じた指導が大切と思われる。

次に、就職状況については、資格取得は100%就職している。また、不合格者は助手として勤め、次年度の国試に受験し、ほぼ100%合格している。

## 9. 結 び

以上のように、短期大学から四年制大学の10年目までの理学療法学科の過去と現状について示してきたが、今後理学療法学科が安定した発展をして行くためには、入り口と出口の確保、すなわち、入学者の確保と卒業生の就職の確保が大切であり、そのためには、教育の質を高めて、現場のニーズに合った理学療法士を卒業生として送り出すことが求められる。

最後に、本稿の作成に当たって資料を提供して頂いた事務局の方々と鈴木学先生、目黒力先生に対して、心からお礼を申し上げます。